

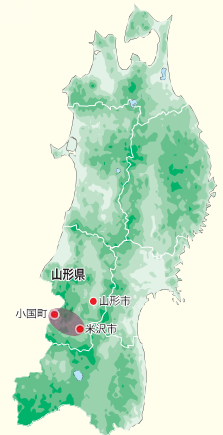
越後米沢街道・十三峠

日本風景街道

東北一第16号

■ ルート概要

「越後米沢街道」は山形県置賜地方から新潟県下越地方に通じる約70kmの旧街道です。明治17年に現在の国道113号が完成するまで約360年もの間、物流のための貴重な街道として使用されました。沿線は中山間地の街道で、この中に13の峠が存することから「十三峠」と呼ばれるようになりました。その中でも「黒沢峠」は敷石道が有名で、当時の歴史や文化を想像させてくれます。多くの峠で趣向を凝らしたイベントが開催されています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 赤芝峠



秋の紅葉の名所、磐梯朝日国立公園に属する荒川峡の中で、最も紅葉が美しいとされる渓谷。遊歩道が整備されている。

観る イザベラの道



明治11年イギリスの女性旅行家イザベラ・バードが「日本のアルカディア」と表現した景観がある。



歩く 黒沢峠の敷石道



いにしへの往来を偲ばせる敷石道は、地元の保存会により整備・保存され、訪れる町民や観光客に親しまれています。

魅力向上の取り組み

● 黒沢峠まつり



毎年10月にウォーキングと交流会が開催されます。黒沢峠まつりは、黒沢集落の人々が先人の残してくれた遺産を一人でも多くの人に知ってもらおうとはじめたものです。紅葉のトンネルが続く敷石道の峠を越えてからの鉄板焼きや地酒がまた格別です。



体験 健康の森横根



施設内にはバンガローや交流棟があり宿泊が可能。広大なブナの森には遊歩道があり、トレッキングや森林浴が体験できる。十三峠のひとつ「朴ノ木峠」には敷石も残っている。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 萱野峠敷石掘り体験



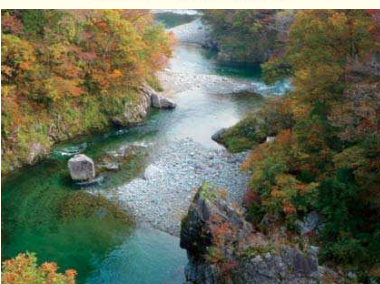
ほぼ峠の全線に敷石が。毎年2回敷石掘りイベントが開催される。

● 宇津峠歩こう会



最大の難所だった宇津峠、石柱などの史跡が多いのも特徴。

観る 玉川渓谷



沿線の自然は訪れる人を魅了する。その中でも最もきれいな玉川渓谷、萱野峠と大里峠の間にある。